

平成29年度宮城県献血推進協議会議事録

平成30年1月22日午後1時から、ホテル白萩けやきの間において、平成29年度宮城県献血推進協議会を開催した。

- | | |
|--|---|
| 1.開会 | 薬務課吉田副参事が協議会の開会を告げ、情報公開条例第19条に基づき、協議会は公開されることを報告した。
協議会条例第4条の規定により、委員18名のうち16名が出席で、定足数である半数を満たし、会議が成立することを報告した。 |
| 2.あいさつ | 薬務課宮城課長のあいさつ。 |
| 3-(1).会長選出 | 薬務課宮城課長が、条例第3条の規定により、会長・副会長の選出は委員の互選によって定めることを告げ、委員に諮った。
(推薦なし)
事務局案について打診があり、事務局案として、張替秀郎委員を会長に、佐々木とし子委員を副会長に提案した。
(承認) |
| 3-(2).会長あいさつ | 張替会長の就任あいさつ

宮城県献血推進協議会条例第4条第1項の規定に基づき、張替会長が議長として議事進行。 |
| 4.議事録署名人の選任 | 議事録署名人は、議長が中川委員と富永委員を選任。
【以下、議事の審議状況】 |
| 4-(1).
平成28年度献血推進実績について
張替会長
事務局（薬務課） | それでは議事に入らせていただきます。平成28年度献血推進実績について、薬務課及び血液センターから報告をお願いします。

【資料 冊子】『宮城県の献血』より
以下について報告した。 <ul style="list-style-type: none">・平成28年度献血状況について・平成28年度献血推進事業の概要について・平成28年度都道府県別献血状況について |
| 事務局（血液センター） | 【資料 冊子】『宮城県の献血』より
以下について報告した。 <ul style="list-style-type: none">・平成28年度献血状況について・平成28年度献血推進事業の概要について |

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度供給状況について
張替会長	東北ブロック血液センターは東北6県から血液を集め、血液製剤を供給していますが、他県の献血状況はどうか。
事務局（血液センター）	各県ごとに必要な血液を確保するのではなく、東北6県で必要な血液を確保するという取組んでおります。平成28年度につきましては、ブロック全体の需要をまかなう献血のご協力を頂くことができました。全体で調整しながら血液型別、製剤別にバランスを取りながら安定供給に努めております。
張替会長	未照射赤血球製剤は、どこに供給したのですか。
事務局（血液センター）	東北大学病院だけです。
張替会長	それでは、次に、平成29年度の献血推進状況について、薬務課と血液センターから、御報告をお願いします。
4-(2).平成29年度献血推進事業及び献血推進状況について	
張替会長	
事務局（薬務課）	【資料1－(1)「平成29年度宮城県献血推進計画」及び資料1－(2)「平成29年度献血推進状況<事業実績>」】について説明
事務局（血液センター）	【【資料1－(1)「平成29年度宮城県献血推進計画」及び資料1－(2)「平成29年度献血推進状況<事業実績>」】について説明
張替会長	それでは、平成29年度の議案につきましては、いかがでしょうか。よろしいですか。200ml献血目標を少しあげているのは10代若年層対策ですか。
事務局（血液センター）	東北ブロックの中で生産年齢人口に占める10代、20代の若年層の割合が増えているのは宮城県だけです。その分200ml献血は増えていて、他の県は減っているとお考え頂ければと思います。
張替会長	400ml献血は若年層はあまり好まれていない、200mlじゃないと献血しないのではないですか。
事務局（血液センター）	400ml献血をお願いできればと思っておりますが、女性ですと16歳、17歳、男性は16歳の方は200ml献血しかお願いできない事情です。
張替会長	準備されているCMについて御説明をお願いいたします。

事務局（薬務課） 今年度は子育て世代のママたちを対象にしたアニメCMを新たに作成し、前に作成した2本を含め今年1月～2月に東北放送と東日本放送で放送しています。これから、アニメCM3本をご覧頂きます。
（うち1本献血アニメむすび丸CM再生不良）

事務局（薬務課） 申し訳ございません。このあと開催されます「献血者への感謝の集い」でも放映予定ですので、そちらのほうでご覧下さい。

4-(3).
平成30年度献血推進計画（案）について
張替会長 それでは、平成30年度の献血推進計画案について、薬務課と血液センターから御説明をよろしくお願ひします。

事務局（薬務課） **【資料3「平成30年度宮城県献血推進計画（案）」】について説明**

事務局（血液センター） **【資料3「平成30年度宮城県献血推進計画（案）」】について説明**

張替会長 それでは、平成30年度献血推進計画（案）について、委員の先生方から何かございますか。
（意見なし）

張替会長 はい、承認していただいたということで、ありがとうございました。

張替会長 複数回献血クラブですけれど、例えば20回とか50回とかになると特別なプレゼントはあるんですか？

事務局（血液センター） 複数回献血クラブは、国の掲げる年二回以上複数回ご協力頂ける方を増やしていこうという目標達成に向けて、取り組んでいるところでして、特別なプレゼントはございません。日本赤十字社では献血表彰制度がございまして、10回、30回、50回、70回及び100回以降50回ごとの達成者に対して表彰する制度も設けておりまして、そのようなところを皆様にご理解頂いて、安定的な血液の確保のために是非複数回ご協力頂けるように呼びかけていきたいと考えております。

薬務課長 私も複数回献血クラブに入っていますけれど、不足状況であるとかそういったことが配信されております。それからイベントの案内とかの情報が流されております。その外、献血すれば検査結果など情報が取得できるというところがメリットになっております。

張替会長	献血に来た人で外れる人もいると思うのですが、その外れる人の率というのはどのようになっていますか。
事務局（血液センター）	28年度で15.15%です。24年度は20.83%ですから、年々かなり減ってきています。今年度さらに減らした状態です。こうしてなんとか献血者の確保に当たっているところでございます。
張替会長	女性の率は上がっているが男性の率が下がっているの、全体としては下がっていますね。
事務局（血液センター）	下げるために、いくつか対応しています。健康管理面とか、鉄分等の指導もを行い、血管が細い方には事前に腕を温めた上で採血ができるようにしているほか、女性の割合率が上がっているようにみえますが、こちらは10代、20代の若い方の献血者数を増やしましょうということで、献血会場に来て頂けるように呼びかけをしているのですが、そのような中で10代の若い女性がたくさん来て頂けますと基準値よりも、献血の基準が高いものですからお断りすることが出てまいります。
佐々木委員	子育て世代の促進を図る為、例えば若い10代、20代の女性が献血に行くとネイルアートができるとか、行ったことによってプラスになるような魅力のある献血ルームになっているんですけど、子育て世代を促進するような計画というものはあるんですか。
事務局（血液センター）	なかなかできていないような現状もあるのですが、一つ献血ルームでは、これもスペースの問題があるのですがキッズルームというものを設けて、お母様・お父様が献血されている間にお子様にはそちらで遊んで頂いたり、DVDや絵本などを用意したりといったようなことは行っております。
樫村委員	私も持っている献血カードのちょっとしたスペースにQRコードとかを入れていただくと、スマホからでもHPを検索できます。予算が掛かりますが、そういうチャレンジをすることも大切。今主流ですからね。そういうところで自分の健康状態がわかり、付加価値をつけることが必要。例えば敬老の日であるとかそういうような時、キャラクターの塗り絵を小学生とか幼稚園児とかに塗ってもらって、「おばあちゃんいつまでも長生きしてね」というのが、敬老の日のお孫さんからのプレゼントというような仕掛けなどで、おばあちゃんよかったねとなるのでしょうか、命の大切さをお孫さんから、つまり低年齢の時から教育していくことによって、若年層の献血というようにところに結びつくものがあるのかなと今考えました。
事務局（血液センター）	時代に合った新しい取り組みを考えていかなければと思っております。先ほど

のSNSなど血液センターでやっていなかったところを取り組むことによって、若い方の協力者が増えていくことに繋がると考えております。また、QRコードについてはですね、例えば検査結果ということになると個人情報の保護の観点からデータを管理するコンピューターへのアクセスは、ちょっと問題もあります。先ほど申しました複数回献血クラブの会員の方は、パスワードを入れることによって、ご自分の履歴にアクセスできるようにしております。ただ、そういった新しいことを取り込むことによって、より多くの方に献血のことを理解してもらうというのは重要だと思っております。献血カードというのは全国共通で使われているものですから、その辺りを全国的にどう取り組んでいくんだというところは、こちらの方からも働きかけて行きたいと考えております。

中川委員

本当に今日はお忙しい中、たくさんのご意見、特に檜村委員にはユニークなアイデアを出して頂きありがとうございました。献血頂いた方に色々な処遇をしたいと思うのですが、実はあまりやると売血になりますので限界があります。献血をやると1万7千円以上の検査の結果が分かるんですね、例えば貧血になると食事指導もいたします。肝機能・貧血・糖尿病・高脂血症、それから感染症、こういったものが献血をすると分かります。それから複数回献血クラブに入ると5回にさかのぼってデータを見ることができます。そういったメリットも予算の範囲で、安定供給のために努めております。皆さんの本当に忌憚のないご意見というのはこれからも頂きたいと思っております。それからお願いしたいのですが、皆さん宮城県の業界を代表する方々ですが、その皆さんの立場で、是非身近なボランティア活動である献血を推進して頂ければと思います。いろいろな会合などに健康講話なども含めて講演等の機会を設けて頂ければと思います。業界紙とか広報誌もあると思います。そういうところにも献血を含めてお話して頂ければと思います。小学校に講演で行くと、お母さんと一緒に子供さんが献血バスに来るんですね。お母さんは「将来この子供と一緒に献血するのが夢だ」といって、こういう風に、世代を超えて暖かい思いやりというのが伝わっていくような気がいたします。血液を今は作ることはできませんので、皆さんの協力を必要としております。是非今後ともよろしくお願ひします。血液センターの立場の方から述べさせて頂きました。

張替会長

その他委員の先生方から何かございますか。

それでは、事務局に進行をお返したいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

4-(4).委嘱状交付

事務局から宮城県献血推進協議会委員に委嘱状を交付した。

5.閉会

張替会長ありがとうございました。

吉田副参事

みなさまには長時間にわたり熱心に御討議いただきまして、ありがとうございました。これを持ちまして、平成29年度宮城県献血推進協議会を終了させていただきます。

審議内容を明確にするため、議事録署名人が記名押印した。

署名人

署名人